

# あなたの〈こころ〉、 ざわついていませんか？

「しゃりんけんトークセミナー」は、南山大学社会倫理研究所が主催する学生のためのトークイベントです。妊娠・出産の話や、環境問題、労務問題など、社会には通常の授業では学びきれない課題がたくさんあります。そのため、本セミナーでは、社会人になる前に知っておいた方がよいこと・考えておいた方がよいことを、各分野の専門家がわかりやすく解説し、さらに参加者のみなさんとのトークセッションを通じて議論します。

演題：「つらいことがあっても  
課題を進められるとき、進められないとき」



日時：2021年9月24日(金)

4限目(15:30~17:10) 15:15より接続可

形式：オンライン (ログイン情報はPORTAをご確認ください)

対象：南山大学に所属する大学生・大学院生・教職員

なかの ゆみ

講師：中野有美 氏 (南山大学保健センター長／人文学部教授)

企画・コーディネータ：森山花鈴 (南山大学社会倫理研究所)

まだ言葉を持たない赤ちゃんは、快く感じれば笑顔を見せ、不快であれば顔をゆがめ泣き声を上げる。しかし、大学生になると、自身が感じている快・不快といった情動(感情)と表情・態度がいつも一致しているとは限らない。本当はその相手に腹が立っているのに冷静なふりをする場合がある。悲しくてやりきれないことがあっても踏ん張って課題の仕上げにかかる時もある。しかし、一方で、腹が立って思わず怒鳴ってしまう時もある。悲しくて課題を進めることができないときだってある。それぞれの時、脳の働きにはどのような違いがあるのだろうか。当日は、脳の各部位の働きを確認しながら、情動を自覚することの大切さ、課題を進める脳の働きと情動の関係、情動を適宜コントロールする意義や方法、などについてお話をさせていただきます。

